福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	奨学金返済負担支援事業						事業コード	050101202301		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811		
事業担当	所属	250500 産業部産業課			所属長	大江 秀也				
会計情報	款	05労働費	項	01労働諸費	目	01労働諸費	会計	01 一般会計	決算附属資料	147・148 頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市奨学金返済負担支援事業補助金交付要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇市内中小企業等の人材確保と福知山公立大学、舞鶴工業高等専門学校の卒業生の市内就職促進を目的として、令和5年度に新規事業として制定した。 〇令和6年度に対象者を高等学校、高等教育機関（大学、短期大学、専門学校等）を卒業した者とするなど拡充を図った。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 制度の拡充により対象者が出てきたものの、京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業を導入する市内中小企業等が少ないため、依然として対象者が少ない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市内中小企業等の人材確保を支援するとともに、京都府北部の高等学校、高等教育機関（大学、短期大学、専門学校等）の卒業生の市内就職の促進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇高等学校、高等教育機関（大学、短期大学、専門学校等）の卒業生を対象に、事業内容（補助金制度）を就職イベントや市内の高等学校、高等教育機関（大学、短期大学、専門学校等）へチラシ配架などの方法で周知する。 〇市内中小企業者向けにも引き続き、京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業の導入企業への訪問による周知や、就職イベントでのチラシ配架による周知を行う。

対象者	市内事業者	対象者数	3,842	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	13	チラシ印刷製本費			
役務費	1	郵送料			
負担金補助及び交付金	198	奨学金返済負担支援事業補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		600	534	784	0
	② 補正予算		1,028	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		1,628	534	784	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		300	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		1,328	534	784	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		1,628	534		
	③ 執行額		65	212		
	④ 執行率		4.0%	39.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.16 / 0.00	0.27 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		1,280	2,160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,345	2,372		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	奨学金返済負担支援事業基金繰入（ふるさと就職応援基金）	基金繰入金	212	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	－	－	3	13		
	高等学校、高等教育機関（大学、短期大学、専門学校等）の市内就職者数	目標値		－	－	10	10	15	
		達成度	%	―	―	30%	130%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	－	－	1	3		
	本制度利用事業者数	当初見込		－	－	3	3	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	○市内中小企業者等に対し、京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業を導入いただけるよう広報を行う。 ○京都府の就労・奨学金返済一体型支援事業を導入する市内中小企業者等に対し、福知山市奨学金返済負担支援制度を活用いただけるよう広報を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○対象事業者を増やすために、本市が事務局として開催する合同企業説明会の参加企業へ本制度と京都府制度の案内を行い、本制度の対象要件となる府制度の導入事業者が令和5年度には3件、令和6年度には1件増加したが、令和7年度に新たに制度を導入した企業はなかった。 ○本制度を導入する事業所数は、令和6年度は1社であったが、令和7年度は3社に増加した。
現状の課題に対する改善策	○合同企業説明会をはじめ、市内事業者が集まる就職イベントなどの場を活用し、市内事業者に対し積極的に制度の導入を呼びかける。 ○合同企業説明会に参加された市内事業者に対し、制度導入に関するアンケート調査を実施し、何が導入の妨げになっているのかを分析する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福知山市企業交流プラザ基本計画策定事業							事業コード	070102202502		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進							施策コード	811	
事業担当	所属	250500 産業部産業課					所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	160	頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画			R8現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・平成30年に長田野工業団地における操業環境や団地内環境の向上を図ることを目的に、「長田野工業団地利活用増進計画」を策定した。同計画において、老朽化が進む企業交流プラザの施設更新の方向性を検討することとしており、令和5年度に福知山市企業交流プラザあり方検討会を設置、令和6年度には、同検討会より施設の機能や規模などについての提言を受けた。令和7年度は、提言内容を踏まえ、施設の方向性を示す福知山市企業交流プラザ基本計画を策定する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・現行の福知山市企業交流プラザは長田野工業団地立地企業が主に利用しており、施設更新の検討においては、市内企業全体の利用を促進するため、市内企業全体の交流を図ることができる機能を盛り込む必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・福知山市企業交流プラザあり方検討会より、施設のあるべき姿、機能、規模、場所、マネジメントの方向性、財源確保の方向性などについて提言を受けた。令和7年度は提言内容を踏まえて基本計画を策定し、市内全体の産業施設としての施設更新の方向性を示す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市企業交流プラザ基本計画を策定する。策定にあたり、以下を実施する。 ・福知山市企業交流プラザ基本計画策定委員会3回程度 ・参考施設、先進地への視察

対象者	市内事業者	対象者数	市内事業者全体	単位あたりコスト	—	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山市企業交流プラザ基本計画策定委員会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	181	福知山市企業交流プラザ基本計画策定委員会委員謝礼、福知山市企業交流プラザ基本計画策定委員会アドバイザー謝礼			
使用料及び賃借料	4	福知山市企業交流プラザ基本計画策定委員会会議室使用料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		0	1,000	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		0	1,000	0	
予算財源内訳	① 一般財源		0	1,000	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	△ 801		
	② 配当予算		0	199		
	③ 執行額		0	185		
	④ 執行率			93.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.00 / 0.00	0.90 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		0	7,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			0	7,385		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	―	―	―	1		
	基本計画書の策定	目標値		―	―	―	1	1	
		達成度	%	―	―	―	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	―	―	―	3		
	福知山市企業交流プラザ基本計画策定委員会の開催	当初見込		―	―	―	3	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・専門家への意見聴取を行う。 ・市民説明会を実施する。 ・パブリックコメントを行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・基本計画策定委員会は想定していた回数を開催することができ、年度内に計画を策定することができた。 ・専門家への意見聴取や先進地視察も行い、計画策定にあたっては市民説明会及びパブリックコメントを実施した。 ・コスト比較をして導入するかどうかを検討することとした。 ・建設工事に向けて、基本設計及び実施設計を行う必要がある。 ・ハード面の基本計画だけでなく、ソフト面の事業内容を具体化する必要がある。
現状の課題に対する改善策	・基本設計業務を委託する。 ・コスト比較を行うこととしている項目は基本設計の中で比較して検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	企業交流促進事業						事業コード	070102320102		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811		
事業担当	所属	250500 産業部産業課			所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	162 頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・地域産業の発展を推進する中で、長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業との接点が少ない。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業との結びつきを強め、受発注率の向上につなげる。 ・上記企業間の交流を深め、地域産業の発展及び企業活動の活性化につなげる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業の結びつき及び交流の促進、企業間の交流、情報交換、受発注の醸成等を目的として実施される福知山企業交流会の活動を支援し、市内企業同士の受発注の活発化等を図ることにより企業活動の活性化、地域の発展につなげる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山企業交流会の活動（企業間の交流促進、企業間の情報収集・提供、企業相互の受発注の醸成など）に対して補助金を交付する。

対象者	会員企業	対象者数	105	単位あたりコスト	13.5	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山企業交流会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	540	企業交流促進事業補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		540	540	540	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			540	540	540	
予算財源内訳	① 一般財源		540	540	540	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		540	540		
	③ 執行額		540	540		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.06 / 0.00	0.11 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		480	880		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			1,020	1,420		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	18	18	14	9		
	受発注率（市内発注/長田野総発注）	目標値		25	25	25	25	25	
		達成度	%	72%	72%	56%	36%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	社	103	104	107	105		
	福知山企業交流会会員企業数	当初見込		110	110	115	115	120	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	会員企業に対して、長田野工業団地立地企業と市内企業の受発注率を向上するための受発注懇談会や先進地視察研修を実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・福知山企業交流会の主要事業である受発注懇談会の開催により、企業間のつながりが醸成され今後の受発注率の影響への効果が期待される。 ・補助金の在り方は、活動内容を考慮しながら見直しを検討する余地がある。 ・交流会の活動が受発注率にどれほど寄与しているか継続確認が必要。（令和5年度より受発注懇談会が再開され、長田野工業団地立地企業と市内企業の受発注率の向上が期待できるため、補助金額は現状維持で進めている）
現状の課題に対する改善策	・福知山企業交流会の事務局である福知山商工会議所に対して、企業間交流や受発注率への影響について聞き取りを実施し、本事業の必要性について検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	企業誘致対策一般管理事業						事業コード	070102320302		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	1 地域経済を支える産業の振興				
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811		
事業担当	所属	250500 産業部産業課			所属長	大江 秀也				
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	163 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・長田野工業団地及びアネックス京都三和への誘致活動はこれまでから実施しているが、立地企業による工場等の新設・増設がある中で、操業環境の整備も必要となってきている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・立地企業が継続して操業できるよう、操業環境の整備は必要である。 ・アネックス京都三和においては残区画があるため、引き続き誘致活動を推進していく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・長田野工業団地及びアネックス京都三和への操業支援並びに誘致活動を推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・企業訪問や電話での接触により、アネックス京都三和の誘致活動を推進する。 ・アネックス京都三和の操業環境を整備するため、除草業務を実施する。 ・除草業務だけでなく、必要に応じて小修繕（剪定や泥上げ等）を実施する。 ・アネックス京都三和で操業されている企業に対して、一定以上の水使用があった場合はそれに対する補助金を交付する。

対象者	長田野工業団地及びアネックス京都三和立地企業	対象者数	57	単位あたりコスト	130.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	シルバー人材センター、藤井不動産鑑定株式会社					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	365	企業訪問、企業展、企業誘致説明会に係る旅費			
需用費	205	電気代、燃料代ほか			
役務費	168	NTT西日本電話代、建物総合損害共済にかかる共済金ほか			
委託料	1,847	京都北部中核工業団地除草業務、不動産鑑定評価業務			
使用料及び賃借料	122	高速道路通行料			
負担金補助及び交付金	453	長田野工業団地第51回スポーツ大会補助金、京都北部中核工業団地立地企業用水使用補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,454	3,079	9,373	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,454	3,079	9,373	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	4,469	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	4,454	3,079	4,904	
決算情報	① 流充用額	△ 32	87		
	② 配当予算	4,422	3,166		
	③ 執行額	3,846	3,160		
	④ 執行率	87.0%	99.8%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.40 / 0.00	0.36 / 0.50	/	/
	② 概算人件費	3,200	4,280		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		7,046	7,440		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	立地企業等従業員住宅使用料	商工使用料	3,160	8	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	区画	2	2	0	1		
	アネックス京都三和分譲区画数	目標値		1	1	1	1	1	
		達成度	%	200%	200%	0%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	社	343	194	87	62		
	直接接触企業数	当初見込		300	300	300	300	300	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・企業展への参加により多くの企業との接触を図る。 ・企業訪問及びアネックス京都三和の区画案内を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・アネックス京都三和の工業団地PRが確実に誘致につながっている。 ・現在、アネックス京都三和では、15社の企業進出と24区画の譲渡（R7年度は区画を分割して1区画分譲した。）により、北近畿の雇用の創出と地域経済の活性化を担っている。 ・既存の立地企業訪問の際の声掛けや企業展への参加による誘致を図っているが、実際の誘致につながるケースは少ない。
現状の課題に対する改善策	・広く周知をするため、企業の設備投資に対する融資元となる金融機関に対しても、訪問やパンフレットの送付などPR活動を実施。 ・非対面での誘致活動として、金融機関のプラットフォームやHPの更新を実施。 ・一定の感触があった企業には定期的に電話等により接触を図っている。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	企業誘致促進特別対策事業							事業コード	070102320303	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進						施策コード	811	
事業担当	所属	250500 産業部産業課				所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	163 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・長田野工業団地は全区画完売、アネックス京都三和は本市で分譲する区画が残りわずかであり、どちらも工場の新設・増設のフェーズに入ってきている。 ・立地企業に継続して本市を操業の地として選択いただけるよう配慮しなければならない。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・本市に進出し、操業される企業に対して、操業支援をしていく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致の促進と、長田野工業団地をはじめとする市内既存企業の奨励措置など設備投資の推進に向けた支援によって、企業の域内定着・雇用創出・若者定住等を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇本市で工場等を新設・増設される企業に対して、以下の奨励金を交付する。 ・工場等新設奨励金2,000円/㎡（工場延床面積） ・雇用奨励金10万円/人（アネックス京都三和へ進出した際は5万円/人を加算、U・Iターン者があった場合は雇用10万円/人を加算） ・工場等建替奨励金1,000円/㎡（除却工場面積） ・固定資産税の減免（3ヵ年）

対象者	長田野工業団地及びアネックス京都三和立地企業	対象者数	57	単位あたりコスト	1,426.9
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	市内立地企業				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
負担金補助及び交付金	73,254	福知山市企業誘致促進及び操業支援奨励金			
		京都府市町村企業誘致推進連絡会議負担金			
		京都北部中核工業団地企業誘致推進協議会負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	113,856	93,280	117,380	0
	② 補正予算	△ 91,500	△ 13,462	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		22,356	79,818	117,380	
予算財源内訳	① 一般財源	580	580	5,380	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	21,776	79,238	112,000	
決算情報	① 流充用額	0	△ 2,912		
	② 配当予算	22,356	76,906		
	③ 執行額	16,738	73,254		
	④ 執行率	74.9%	95.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.69 / 0.00	0.80 / 0.60	/	/
	② 概算人件費	5,520	8,080		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		22,258	81,334		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	企業誘致促進特別対策事業基金繰入（企業誘致促進及び工場等操業支援基金）	基金繰入金	72,874	36	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	55	60	9	32		
	奨励金対象雇用者数	目標値		50	50	50	50	50	
		達成度	%	110%	120%	18%	64%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	企業	6	4	4	7		
	奨励金交付企業	当初見込		7	7	7	7	7	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・奨励措置の内容を本市HPで紹介。 ・設備投資が計画されている企業に対し、奨励措置の内容について紹介。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・本市の補助制度は、企業の新規立地や設備導入を促すことに効果的である。特に市内既存企業の場合においては、補助要件が緩和されることからも増設を考える工場にとって利用しやすい制度となっている。 ・工場の新設及び増設されない企業からは奨励金制度の認知度が低く、問い合わせが少ない。
現状の課題に対する改善策	・誘致活動に係る企業訪問だけでなく、既存の立地企業訪問の際にも、企業の今後の投資計画等を確認しつつ、奨励金制度の紹介をあわせて実施し、奨励金制度の活用を促す。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	企業向け従業員住宅一般管理事業							事業コード	070102320304	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進						施策コード	811	
事業担当	所属	250500 産業部産業課				所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	163 頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市三和町立地等従業員住宅条例、福知山市三和町立地企業等従業員住宅条例施行規則、普通財産フォレストサイドみわ（東棟）の管理及び運営に関する取扱要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・アネックス京都三和の従業員住宅である「ヴィラージュみわ」及び「フォレストサイドみわ」の老朽化が進んでいる。 ・どちらの従業員住宅も入居者が増えており、今後も引き続き利用される見込みである。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・老朽化が進んでいる箇所は修繕を実施し、必要に応じて設備の取替等を実施する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・アネックス京都三和周辺に団地内企業向けの従業員住宅を整備することにより、団地企業の労働力確保の一助とするとともに、当該工業団地のセールスポイントの1つとして企業誘致の促進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・ヴィラージュみわ及びフォレストサイドみわの入退去管理を実施する。 ・設備等環境整備の実施。

対象者	アネックス京都三和立地企業従業員	対象者数	350	単位あたりコスト	11.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	708	電気代、ヴィラージュみわ玄関鍵取替修繕、フォレストサイドみわ外灯配線修繕業務ほか			
役務費	122	ヴィラージュみわ入居前清掃及び設備確認、フォレストサイドみわ消防用設備等点検ほか			
備品購入費	145	ヴィラージュみわエアコン備品購入、ヴィラージュみわ消火器購入			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,495	1,455	1,332	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	1,495	1,455	1,332	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,495	1,455	1,332	
決算情報	① 流充用額	8	△ 118		
	② 配当予算	1,503	1,337		
	③ 執行額	1,437	975		
	④ 執行率	95.6%	72.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.15 / 0.00	0.11 / 0.75	/	/
	② 概算人件費	1,200	2,980		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		2,637	3,955		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	立地企業等従業員住宅使用料	商工使用料	975	8	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	戸	14	21	21	21		
	入居戸数	目標値		26	26	26	26	26	
		達成度	%	54%	81%	81%	81%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	343	194	87	62		
	直接接触企業数	当初見込		300	300	300	300	300	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・企業訪問の際に従業員住宅のPRを実施するとともに、工業団地内の企業訪問の際にも改めて周知する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・企業誘致のインセンティブとして建設された住宅であり、工業団地周辺での住居の確保を担うことができている。 ・企業誘致の際には魅力の一つとして紹介しているので、継続的に入居されている方が多い。企業における新規採用者にとっても住居の選択肢の一つとなるよう継続的に情報発信する必要がある。
現状の課題に対する改善策	・従業員の採用にあたり企業からも提案ができるよう、従業員住宅に関する情報提供やパンフレットの配布などの周知を実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	長田野工業団地利活用増進事業（道路環境整備）							事業コード	080202120232		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	1 地域経済を支える産業の振興			
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進							施策コード	811	
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課					所属長	岡部 隆幸			
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	02道路維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	170	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・通過車両等の視距不良を解消するため、これまで街路樹のせん定伐採が計画的に実施されてきた。 ・街路樹が成長することで歩道内に根が張り、路面に凹凸が生じているほか、街路樹せん定等の維持管理費用が増大なものになっている。 ・長田野工業団地造成時から設置されている街路灯が、経年劣化により腐食しており、転倒等による事故が発生する危険がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・街路樹が巨大化して枝葉が張り出し、通過車両等の視距不良が生じているため、解消する必要がある。 ・街路樹が成長することで歩道内に根が張り、路面に凹凸が生じているほか、歩道幅員が狭くなることによる通行支障を解消する必要がある。 ・街路灯が経年劣化により腐食し、転倒等の恐れがあり危険な状態であるほか、灯具がLED化していないものがある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 長田野工業団地内における街路樹について、繁茂により視距不良や横断幅員の減少及び根などによる路面の凹凸等が課題となっているため、長田野工業団地利活用増進計画に基づき、街路樹伐採等を行い団地内の交通環境の改善を図る。 また、経年劣化している街路灯等を更新することにより、安全な道路交通を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・交通の支障となる道路沿線の樹木を伐採および剪定することで、倒木による危険および視距不良を解消し、安全な道路交通を確保する。 ・老朽化している街路灯柱及び取付金具の更新を行うことで転倒事故を防ぐほか、照明をLED化することで光量の増強を行い安全な道路交通を確保する。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者等					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	4,557	長田岩間線除草せん定業務ほか			
工事請負費	11,093	大野1号線ほか歩道整備工事			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		29,560	17,865	17,500	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			29,560	17,865	17,500	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		29,560	17,865	17,500	
決算情報	① 流充用額		△ 1,755	0		
	② 配当予算		27,805	17,865		
	③ 執行額		27,805	15,650		
	④ 執行率		100.0%	87.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.70 / 0.15	0.50 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		6,020	4,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			33,825	19,650		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	長田野工業団地公園緑地等事業基金繰入金	基金繰入金	15,650	35	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	0	0	0	0		
	街路灯の転倒などによる事故	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	0	7	6	0		
	街路灯柱更新数	当初見込		2	7	4	4	0	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	国道9号区域内にある老朽化した街路灯柱および灯具を更新することにより、安心安全な道路交通の確保を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	歩道内の街路樹については、長田野工業団地内すべての歩道で、伐採および植樹桝撤去が完了したことにより、歩行者の交通環境の向上を図ることができたが、道路沿線の樹木の巨木化や老木化による倒木等の懸念や道路舗装や街路灯などの道路施設の老朽化が著しくなっていることから、計画的な更新や修繕等の対応が必要となっている。
現状の課題に対する改善策	道路舗装の著しい損傷や街路灯の腐食、転倒等による事故を発生させないために、計画的な更新や修繕等を実施して行く必要があるが、大規模な改修を実施するためには、国費等の財源確保を行う必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	長田野工業団地利活用増進事業(緑地等環境整備)							事業コード	080404530259	
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	1 地域経済を支える産業の振興		
	施 策 名	1 既存企業の成長促進と中核企業の誘致・定着の促進					施策コード	811		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課					所属長	川島 奈都代		
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	04公園管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	177 頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	長田野工業団地利活用増進計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	都市公園法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	既設公園管理事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・適切な剪定や伐採等の維持管理は、企業の安定した操業環境を確保するために必要である。 ・長田野工業団地は建設から50年以上が経過していることから、樹木が巨大化しており、剪定や伐採等の要望を多数受けている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・計画的な伐採を進めてきているところではあるが、大規模な伐採・剪定等を実施すると、日当たりが改善されることから、今まで以上雑草が繁茂するため、その対策についても検討していく必要がある。 ・大規模な伐採・剪定等事業を実施した場所についても、樹木は再び大きくなっていくことから、状況を確認しながら定期的な維持作業が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 長田野工業団地利活用増進計画に基づき、緩衝緑地等の樹木伐採を計画的に進め、企業の安定した操業環境を確保することを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・計画的な樹木伐採や剪定

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	伊東木材株式会社、福知山地方森林組合					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	8,491	緩衝緑地等樹木伐採			
積立金	8,721	長田野工業団地公園緑地等事業基金積立金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	17,721	17,221	17,221	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	17,721	17,221	17,221	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	17,721	17,221	17,221	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	17,721	17,221		
	③ 執行額	16,687	17,212		
	④ 執行率	94.2%	99.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	800	800		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		17,487	18,012		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	都市公園占用料	土木使用料	8,721	9	
	長田野工業団地利活用増進事業（緑地等環境整備） 基金繰入（長田野工業団地公園緑地等事業基金）	基金繰入金	8,490	35	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	1	0	0		
	倒木等による事故件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	100%	－	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	10	6	9	4		
	伐採件数	当初見込		6	6	6	6	6	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・計画的な樹木伐採や剪定								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・大規模な樹木伐採・剪定が必要な緑地は、増加傾向にある。 ・市の計画だけでなく、企業からの要望を受けて、現地調査を実施し、その緊急度に応じて、優先順位を決めて事業を実施している。 ・操業の妨げになっている樹木や、工場内に越境した樹木、企業から伐採要望が多い樹木等を中心に伐採・剪定を実施した。
現状の課題に対する改善策	・企業の敷地内に侵入し操業の妨げとなっている樹木、倒木の恐れがある樹木など、緊急性や危険度を総合的に判断し、優先順位を決めて事業を進める必要がある。 ・令和7年度においても、危険度や緊急性の高い緑地から優先的に事業を進める。